

令和元年第1回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和元年6月6日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、天皇陛下におかれましては、去る5月1日、皇位を継承されました。

市民の皆様とともに謹んでお祝いを申し上げますとともに、天皇・皇后両陛下のご健勝と皇室の益々の弥栄を衷心よりお祈り申し上げます。

続きまして、市民の皆様の活躍につきまして、報告させていただきます。

【健康福祉の部における活躍について】

5月10日、本市を拠点に活躍する瑞宝太鼓の皆様から、日仏友好160年を記念して2月に開催された「ジャポニスム2018 響きあう魂」に出演され、フランスのナント市、パリ市での計4回の公演では、称賛を浴びる、大きな成功を収めたとの報告をいただきました。

また、5月28日には、「安倍総理と障がい者との集い」に招待され、安倍総理の前で演奏を披露されたと伺っております。

5月11日、第16回長崎県ねんりんピックが開催され、雲

仙市から 10 競技、117 名の選手が参加し、ボウリング女子の部で愛野町の吉田純子様が見事優勝されました。

【産業の部における活躍について】

3 月 26 日、平成 30 年度農業農村整備優良地区コンクール表彰式が行われ、中山間地域等振興部門において、国見町の八斗木土地改良区様が、県営農地整備事業を機に取り組みられた「八斗木白葱」のブランド化と、この取り組みにより波及した高収益、後継者確保、児童数増加などの成果が評価され、農林水産大臣賞を受賞されました。

4 月 18 日、漁業の外国人技能実習生を受け入れられ、実習生と共に発足させたインドネシア料理研究会を通じて、地域活性化に取り組まれている株式会社 天洋丸 様から、「第 24 回全国青年・女性漁業者交流大会」の地域活性化部門において水産庁長官賞を受賞された旨、報告をいただきました。

【児童文化の部における活躍について】

3 月 24 日、「第 49 回世界児童画展」の表彰式が行われ、小浜こども園の西村健心さん、増山実乃莉さん、飛子保育園の

森崎 蓮さんがそれぞれ特選に選ばれ、また、優れた作品を多数出品された小浜こども園が文部科学大臣賞を受賞されました。

【スポーツの部における活躍について】

小学生の活躍につきましては、5月1日、「第35回長崎県少年少女空手道選手権大会」が開催され、大塚小学校の山本星奈さんが4年生女子組手において準優勝を、雲仙小学校の村上輝さんが6年生男子組手において3位入賞の成績を収められ、6月に行われる第6回全九州少年少女空手道選手権大会に出場されます。なお、山本星奈さんにおかれましては、8月開催の第19回全日本少年少女空手道選手権大会への出場も決定されております。

中学生の活躍につきましては、4月2日から3日にかけて開催された平成31年度ジュニアクイーンズカップ・レスリング選手権大会に国見中学校の内野杏美さんが出場され、準優勝の成績を収められました。

高校生の活躍につきましては、3月17日から20日にかけて開催された「第37回全国高等学校男子ソフトボール選抜

大会」において、本市在住の5名の選手を擁する長崎県立大村工業高等学校が見事優勝を果たされました。

成年の活躍につきましては、5月26日、「第39回6・9人制バレーボールクラブカップ男女選手権大会長崎県予選会」が開催され、雲仙市より出場されましたMsize南串北串が9人制男子の部において、見事優勝を果たされ、8月9日から兵庫県で開催される全国大会への出場権を獲得されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等について、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

定住促進につきましては、4月1日、移住・定住の促進を担当する地域おこし協力隊員として、陶山岳志さんが着任いたしました。

隊員となった 陶山さんには、これまでの経験と豊かな感性を活かして、移住希望者への情報発信やサポート等に取り組んでいただき、本市への移住・定住が促進されるよう期待するものでございます。

地域防災体制の強化につきましては、3月28日、一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会様と「災害時における協力に関する協定」を、4月15日には、ヤフー株式会社様と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結いたしました。

今回の協定締結により、大規模災害時における災害情報や避難情報を幅広く周知することに加え、避難所の確保や食事提供など、迅速な災害対応ができるものと期待しております。

5月26日、長崎県と島原半島3市が主催する長崎県総合防災訓練を開催し、64の機関、約1,000名の参加の下、救助訓練や各種災害対応訓練など、様々な災害を想定した訓練を実施いたしました。

5月31日、雲仙市防災会議を開催し、昨年度の自然災害の発生に伴う災害警戒本部の設置運営状況のほか、本年3月に策定した「雲仙市受援計画」等の説明を行いました。

【基本方針 2「産業と交流」の分野について】

水産業の振興につきましては、3月下旬から5月上旬まで国見町神代地区の海岸で、国見漁業協同組合によるアサリの潮干狩りが開催され、延べ 8,021 人の市民及び市外の方が潮干狩りを楽しまれておられました。

主催者の皆様のご尽力に対し、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

物産の販路拡大につきましては、5月9日、東京、大阪、京都、福岡において雲仙市の物産を活用していただいております株式会社アグリゲート様、株式会社フロリスト・コロナ様、ブルーバースデザイン株式会社様と、物産販売促進による地域活性化を図ることを目的とした基本協定を締結いたしました。

今回の協定締結により、関係事業者様と連携した物産販売促進の強化と、地域産業のさらなる発展に努めてまいります。

【基本方針 3「社会基盤と環境」の分野について】

道路整備における平成 31 年度の国土交通省道路局関係予算につきましては、島原道路の瑞穂吾妻バイパス及び国道 57

号富津視距改良など、本市が関係する事業に対し継続的な予算配分がなされたほか、小浜町北野地区において小浜歩道整備が新たに事業化されました。

事業の推進にご尽力いただきました、元村議長をはじめとする市議会議員の皆様並びに関係者の皆様に対し、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

また、4月12日及び5月8日には、市議会議員の皆様とともに、県選出国會議員、国土交通省並びに財務省に対し、地域高規格道路「島原道路」の早期全線開通と、愛野・小浜間の幹線道路整備に関する要望活動を実施いたしました。

水道施設の適正な維持管理につきましては、3月25日、島原市、雲仙市、南島原市において、「水道施設等相互応援協定」を締結いたしました。

この協定締結により、漏水事故や災害等が発生した際の応急対策や給水機能の復旧活動など、迅速な協力連携による対応ができるものと期待しております。

【基本方針4「人財と郷土」の分野について】

4月15日、雲仙市国見町出身で日本史学者であった、故藤

野 保様ご遺族様から『雲仙市の子供たちの為に役立ててほしい』と、寄付金をいただきました。

寄付金は、藤野様のご遺志に基づき、本年秋にオープン予定の愛の夢未来センターや雲仙市図書館の歴史を学べる書籍等の購入費に充てることとしており、本議会定例会において補正予算を提案しております。

藤野様のご厚志に対しまして、市民を代表し心より御礼申し上げます。

スポーツの推進につきましては、4月20日から5月3日にかけて、「第14回雲仙市ジュニアスポーツ大会」が開催され、10競技27種目に、県内外から229チーム、総勢2,987名の参加がございました。

市体育協会と各競技団体関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。